

令和3年度施政方針要旨・当初予算

特集

活力と魅力に満ちた綾瀬へ

古塩市長は、2月25日の定例市議会で令和3年度の市政に対する所信の一端と主要施策を示しました。施政方針の全文は、市ホームページと市役所2階情報公開コーナーで閲覧できます。

※本文と表中に記載の数値は、表示単位未満を四捨五入しています

☎ 施政方針は企画課 ☎70・5635、
当初予算は財政課 ☎70・5601

< 施政方針要旨 >



人口減少や少子高齢化が進行する中、総合計画2030における15の戦略プロジェクトを基に、「活力と魅力に満ちた綾瀬」のさらなる向上に取り組みます。

新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい財政状況の下であっても、安定した行政サービスを提供するとともに、市民生活を守るため、効果的な予算の配分と最適な手法について議論を尽くし、厳選した予算を編成しました。

令和3年度は市政発展とウィズコロナ時代に見合った、新たな人と人の「つながり」を築き、市民の皆様と共に持続可能な綾瀬をつくりあげてまいります。

1 都市づくり

綾瀬スマートインターチェンジを最大限に活用し、まちづくりを進めます。周辺地区における道路ネットワークのほか、地域振興の発信拠点となる道の駅、及び工業系新市街地の整備を進め、持続的な都市機能の成長・発展を目指します。

2 産業の活性化

市内中小企業の経営力強化に向け、新たな補助金制度を創設するほか、デジタル化による生産性向上への助言・指導を行います。

観光アドバイザーと連携した新たな観光事業の創出や農商連携による菜速あやせコーンを活用した事業を実施し、市内消費の拡大を図ります。

3 地域福祉社会の実現

元気な高齢者を増やすため、社会参加へのきっかけとなる体験教室やグループの立ち上げ支援を実施し、地域社会との新たなつながりを促進します。

感染症予防も含めた取り組みとして、健康的な生活習慣が定着する仕

組みを構築し、健康寿命の延伸を図るほか、特定健診の受診者を対象に個別データ化して評価を行い、生活習慣病の重症化予防を進めます。

4 子ども・女性政策

子育て世帯が安心できる環境づくりに向け、保育所の定員拡大を図るほか、子ども家庭総合支援拠点の設置、「にこにこ・しあわせ子育て商品券」と「妊婦支援特別給付金」を支給します。

タブレット端末を活用した授業の開始に伴い、市内小・中学校にICT学習支援員を配置するほか、オンラインでも学習ができる環境を整えます。

5 都市の質の向上

安全安心な市民生活を確保するため、複合災害に備えた防災倉庫を整備するほか、マンホールトイレや防災トイレの整備、比留川の治水対策を進めます。

目久尻川文化ゾーン構想の実現に向けて取り組むとともに、光綾公園の再整備や移動販売車の導入検証を行います。

各会計の予算規模

一般会計と4特別会計などの予算総額は480億5千万円で、前年度に比べ13億2千万円(2.7%)減少し、そのうち一般会計は、281億3千万円で、道の駅整備のスケジュール見直しや旧消防本部庁舎解体工事の完了などにより12億1千万円(4.1%)減少しています。特別会計などは介護保険事業では保険給付費が増となる一方、深谷中央特定土地区画整理事業の廃止や、下水道事業での公営企業会計の移行完了に伴う特別損失の減などによる収益的支出の減などから、4会計全体で199億2千万円、前年度に比べ1億1千万円(0.6%)減少しています。

会計名	令和3年度	対前年度比	
		増減額	増減率
一般会計	281億3,000万円	△12億1,000万円	△4.1%
特別会計			
国民健康保険事業	85億4,900万円	△1億6,100万円	△1.8%
深谷中央特定土地区画整理事業	-	△2億1,500万円	皆減
介護保険事業	59億5,900万円	3億7,800万円	6.8%
後期高齢者医療事業	13億6,500万円	1億5,000万円	12.3%
公営企業会計			
公営下水道事業	40億4,581万円	△2億6,496万円	△6.1%
合計	480億4,881万円	△13億2,296万円	△2.7%

一般会計のグラフ

